

1. 教育目標

- ・感染制御の臨床において、抗菌薬における pharmacokinetics/pharmacodynamics 理論や antibiotic heterogeneity の方法を用い、治療効果をあげかつ耐性菌を出さないための抗菌薬使用法を教育する。
- ・院内感染対策として感染経路別の対策を実践し、また各種サーベイランス（耐性菌、デバイス関連感染、手術部位感染など）を行う。
- ・通常の血液透析や持続濾過透析など特殊な状況下における各種抗菌薬の血中動態を解明する。
- ・抗菌薬耐性メカニズムの解明を行い、耐性化防止対策を講じる。

2. 到達目標

- (1) 抗菌薬における Therapeutic drug monitoring (TDM) の評価とそれを用いた抗菌薬投与計画を立てることができる。
- (2) MRSA 感染対策として、PCR を用いた保菌者の active surveillance ができる。
- (3) 腎機能障害患者における抗菌薬投与設計をすることができる。
- (4) 手術部位感染サーベイランス、デバイス関連感染サーベイランスができる。
- (5) 抗菌薬使用の評価として antibiotic use density (AUD) を活用できる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

課題におけるレポート提出（20%）、研究成果の発表（60%）、発表討議の内容（20%）

4. 教科書・参考書

特に定めない。

5. 準備学習

予習: 関連文献検索（1時間）

復習: 講義内容を整理しノートにまとめる（0.5～1時間）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【感染制御学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	抗菌薬使用の実際・実験	中嶋准教授 植田助教	月曜/3限 月曜/4限 木曜/1限 木曜/2限	通年	8	感染制御部 カンファレンス ルーム・病棟
演習	感染症関連外国文献抄読会	中嶋准教授 植田助教	木曜/5限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム
演習	感染制御、耐性菌、抗菌薬に関する 症例検討と研究報告	中嶋准教授 植田助教	木曜/5限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム
講義	感染症治療、耐性菌対策、抗菌薬適 性使用	中嶋准教授 植田助教	火曜/5限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	抗菌薬使用の実際・実験	中嶋准教授 植田助教	月曜/6限 月曜/7限 木曜/6限 木曜/7限	通年	8	感染制御部 カンファレンス ルーム・病棟
演習	感染症関連外国文献抄読会	中嶋准教授 植田助教	火曜/6限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム
演習	感染制御、耐性菌、抗菌薬に関する 症例検討と研究報告	中嶋准教授 植田助教	火曜/6限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム
講義	感染症治療、耐性菌対策、抗菌薬適 性使用	中嶋准教授 植田助教	金曜/6限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	抗菌薬使用の実際・実験	中嶋准教授 植田助教	月曜/3限 月曜/4限 木曜/1限 木曜/2限	通年	8	感染制御部 カンファレンス ルーム・病棟
演習	感染症関連外国文献抄読会	中嶋准教授 植田助教	木曜/5限	半年	2	感染制御部 カンファレンス ルーム
演習	感染制御、耐性菌、抗菌薬に関する 症例検討と研究報告	中嶋准教授 植田助教	木曜/5限	半年	2	感染制御部 カンファレンス ルーム

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	抗菌薬使用の実際・実験	中嶋准教授 植田助教	月曜/6限 月曜/7限 木曜/6限 木曜/7限	通年	8	感染制御部 カンファレンス ルーム・病棟
演習	感染症関連外国文献抄読会	中嶋准教授 植田助教	火曜/6限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム
演習	感染制御、耐性菌、抗菌薬に関する 症例検討と研究報告	中嶋准教授 植田助教	火曜/6限	通年 隔週	2	感染制御部 カンファレンス ルーム